

令和6年11月29日 令和6年第1回臨時会  
議長選挙に係る所信表明

飛鷹 裕輔 議員

議席番号12番、飛鷹裕輔です。

これまで、一問一答方式の導入、議会基本条例の制定、タブレット端末の導入、事業評価や政策提言、正副議長の所信表明など、一連の議会改革を進めてまいりました。これらの改革で、議会や議員はこうあるべきだという形式的改革は進んできました。これからは、これら一つ一つの内容の実質的改革が問われることになります。

私が議員と議会の在り方で最も重要と考えているのは、議会基本条例第8条にもあります、「議会及び議員は二元代表制に係る市長その他の執行機関との立場及び機能の違いを踏まえ、緊張関係を保持し、事務執行の監視及び評価に努めるものとする」、この点であります。一般質問や各委員会審議などを通じて市民の意見や要求を反映しながら、公正・公平、無駄のない市政を確立しなければなりません。そこで私がこれからの重要課題に挙げたいのは、常任委員会審議での議員間討議の確立と徹底審議の保障、議会だよりの市広報からの分離・独立し、内容を充実しての発行、請願・陳情者の説明機会の保障、委員会審議や予算・決算書類などのホームページでの公開であります。

「全ての議会改革は市民福祉の増進につながる」、これは以前、四国中央市議会が視察にも出向いた亀岡市議長の言葉です。

住民が主人公、皆さんの先頭で頑張る決意であります。議員各位の御支援を心から訴えまして、議長立候補に当たっての所信表明といたします。